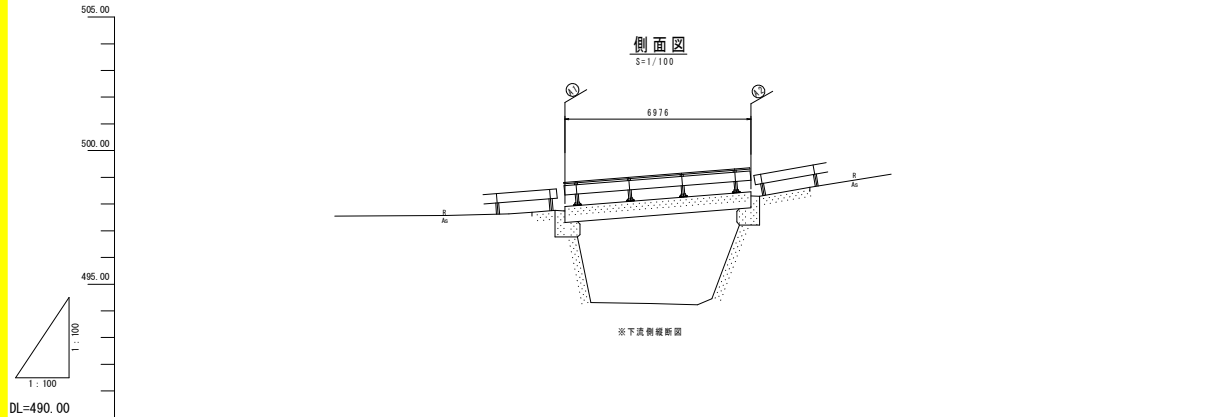


第二倉羅橋 現況橋梁図

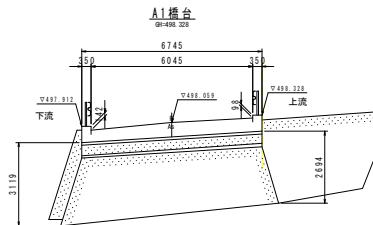


縦断勾配 ※道路中心線上	
測点	A1, A2
追加距離	-497.640, -5.000, 0.000, 6.976, 11.976
路面高	-497.640, -488.039, -488.642, -489.000

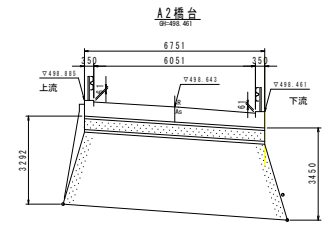
上部工断面図
S=1/50



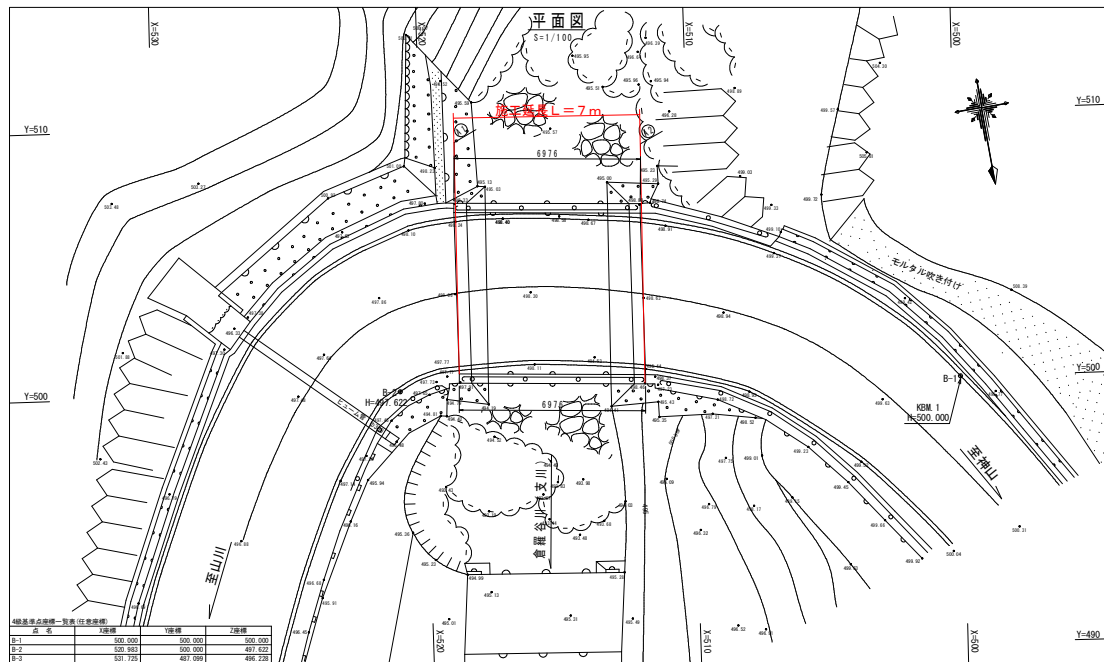
下部工断面図
S=1/100



DL=490.000



DL=490.000

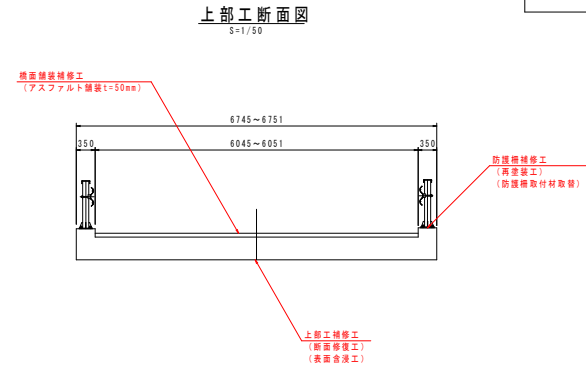
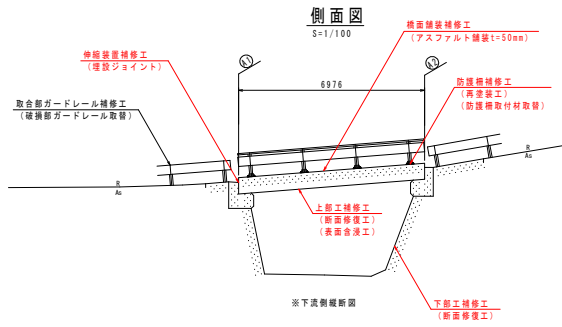


区画	面積	積算	積算
B-1	60.000	60.000	60.000
B-2	60.983	60.983	497.622
B-3	617.181	487.000	486.231

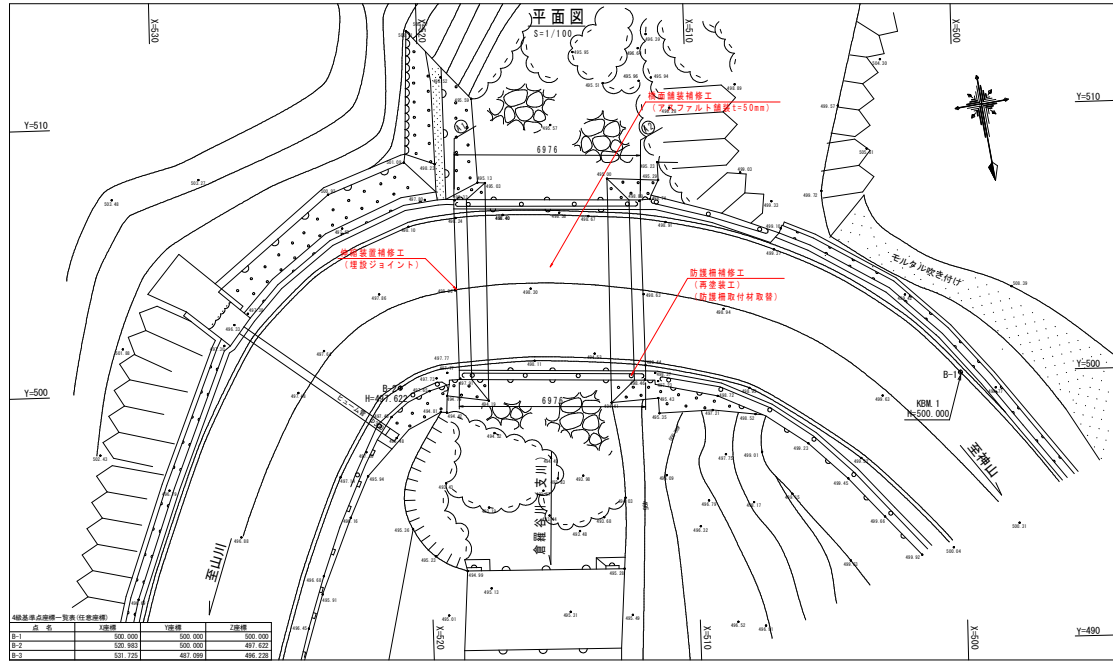
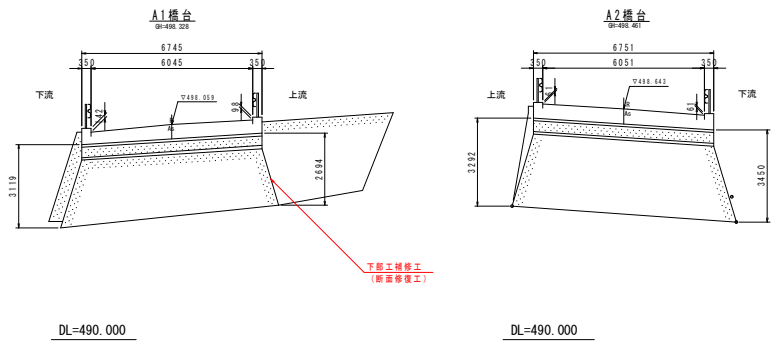
当初発注図面

【第二倉羅橋】	
工事名	R2富士 国道193号(第二倉羅橋) 西-美郷倉庫 橋梁補修工事
路線名等	一般国道193号
工事箇所	吉野川市美郷字倉庫(第二倉羅橋)
図面名	現況橋梁図
縮尺	図示 図面番号 1 / 8
会社名	
事業名	徳島県東部農土整備局(吉野川庁舎)

補修計画一般図



下部工断面図
S=1/100



4輪車道の舗装一覽表(1)取替積	1箇所	2箇所	3箇所
B-1	600.000	600.000	600.000
B-2	520.960	520.000	497.622
B-3	531.751	487.000	496.273

補修工種一覽

上部工補修工 (床版・地盤)	橋面修復工 (ポリマーセメントモルタル) 表面塗装工 (シラン系)
下部工補修工	橋面修復工 (ポリマーセメントモルタル)
伸縮装置補修工	埋設ジョイント新設
橋面舗装補修工	アスファルト舗装打替工 (t=50mm) シート系防水工 (ドレーン材設置)
防護柵補修工	再塗装工 防護柵取付材取替 (ボルト・ナット)

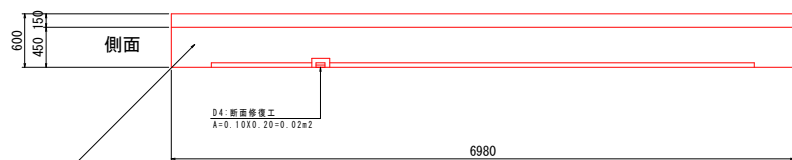
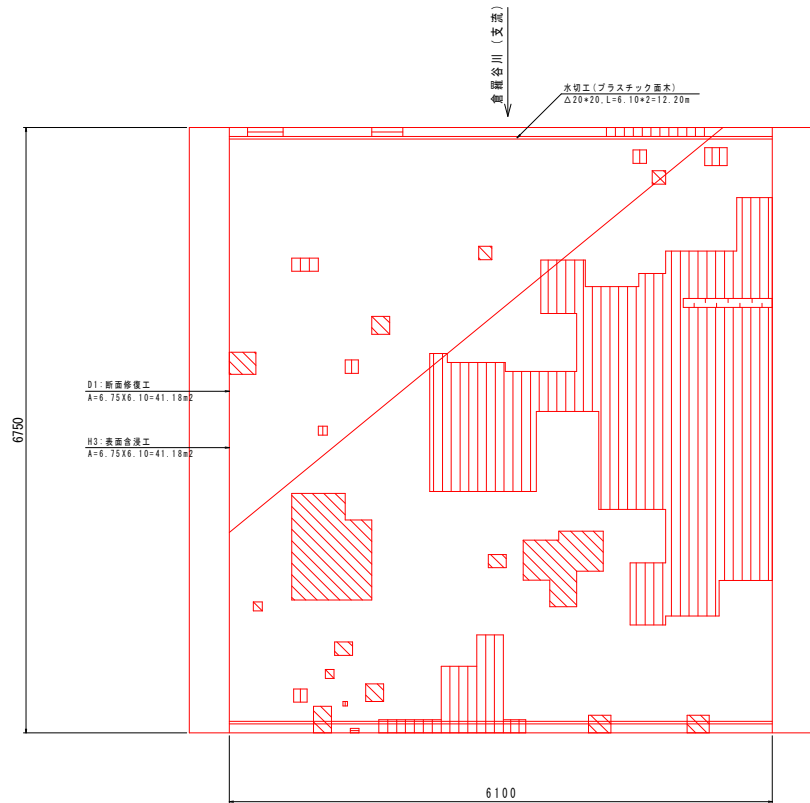
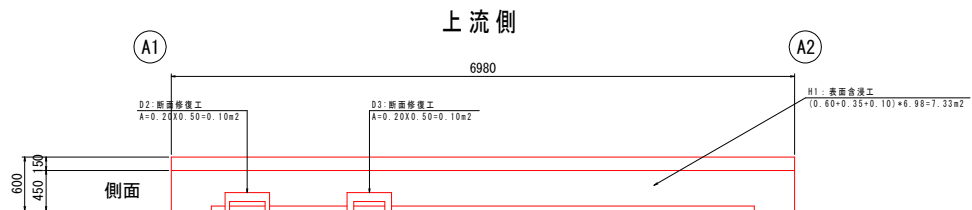
当初発注図面

【第二巻種別】			
工事名	R2吉土 国道193号(第二巻種別)	西・奥細倉線 橋梁補修工事	
路線名等	一般国道193号		
工事箇所	吉野川市奥細倉線(第二巻種別)		
図面名	補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 8
会社名			
事業名	徳島県東部農土整備局(吉野川庁舎)		

上部工補修計画図

S=1:30

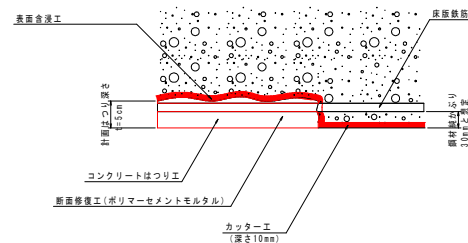
上方からの鳥瞰平面図



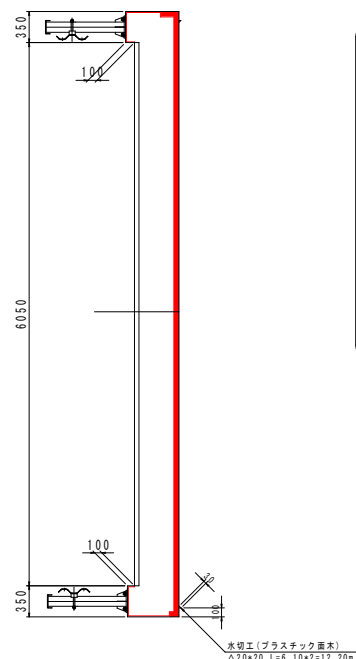
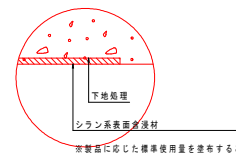
H2: 表面含浸工
(0.60+0.35+0.10)×6.98=7.33m²

下流側

断面修復工詳細図 S=1:5



表面含浸工詳細図 S=1:5



- <施工手順>
1. カッター工
深さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつりエ
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマー等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を広げること。
 3. 鉄筋露出工
鉄筋のケレン作業を行う。
 4. 断面修復工
既定割合に砂量材を塗布する。
 5. 表面含浸工
シリコン系表面含浸材にて表面含浸処理を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※塗布面の状況に応じて、施工方法、塗布回数、施工間隔等を設定すること。
※塗布面を十分に清掃し、使用製品に応じた含浸処理を行うこと。
 6. 断面修復工
ポリマーセメントモルタルにて断面修復を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※1層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性を考慮して設定すること。
※鉄筋の背面に空層を残さないよう注意すること。

補修数量表-1 (カッター工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1: A1換管産前産 (横断方向)	6.75m	6.75m
D1: A2換管産前産 (横断方向)	6.75m	6.75m
D2: 0.2×2+0.5	0.90m	0.90m
D3: 0.2×2+0.5	0.90m	0.90m
D4: 0.1×2+0.2	0.40m	0.40m
カッター工延長 合計 L=15.70m		

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-2 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1	6.75X6.10	41.18m ²
D2	0.20X0.50	0.10m ²
D3	0.20X0.50	0.10m ²
D4	0.10X0.20	0.02m ²
断面修復工断面積 合計 A=41.40m ²		

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-3 (表面含浸工)

補修箇所	補修断面積
H1 (0.60+0.35+0.10)×6.98	7.33m ²
H2 (0.60+0.35+0.10)×6.98	7.33m ²
H3 6.75X6.10	41.18m ²
表面含浸工面積 合計 A=55.84m ²	

【第二巻種補】

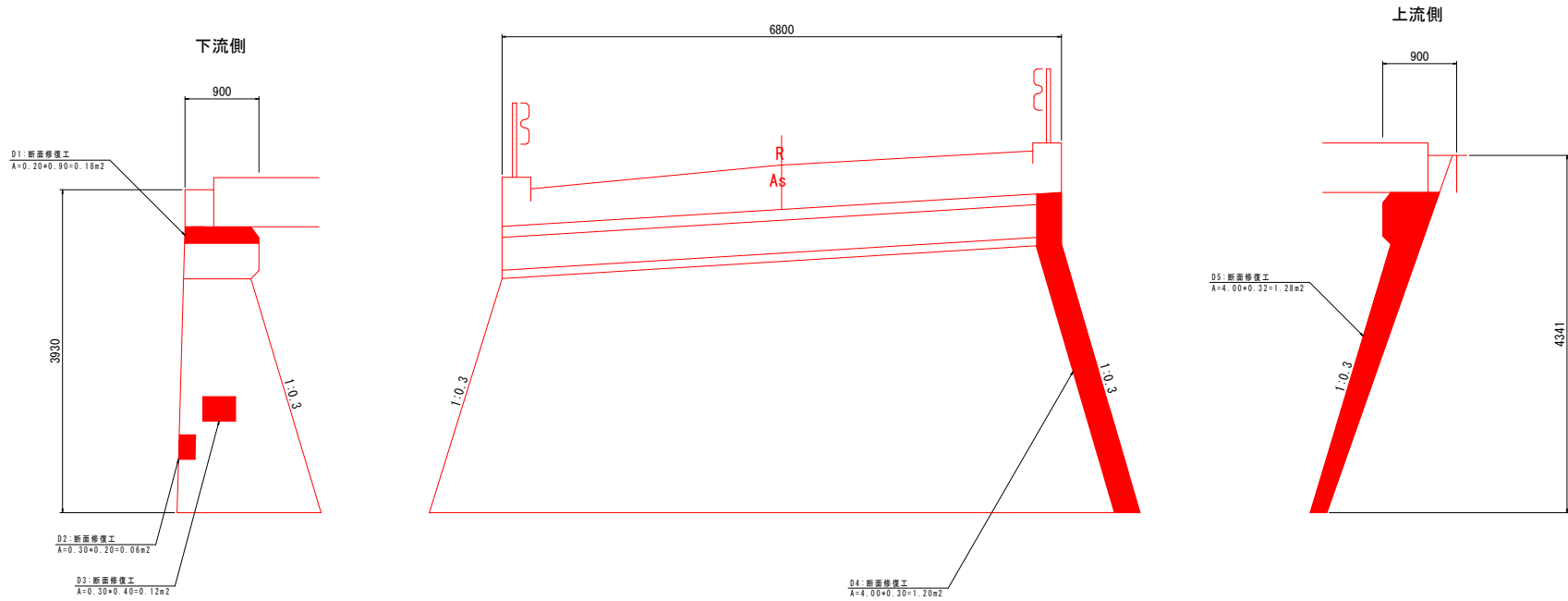
当初発注図面

工事名	R2吉士 国道193号 (第二巻種補)
路線名等	吉・奥越線 橋梁補修工事
工事箇所	一般国道193号
図面名	上部工補修計画図
図尺	図示 図面番号 3 / 8
会社名	
事業名	福島県東部土木整備局 (吉野川庁舎)

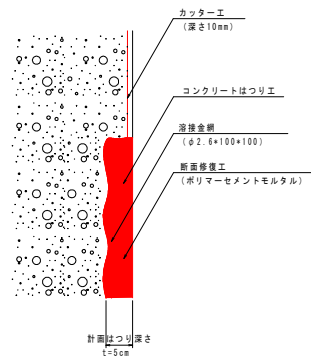
下部工補修計画図(1)

S=1:30

A1橋台
(右岸側)



断面修復工詳細図 S=1:5



＜施工手順＞
 1. カッター工
 高さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつり工
 はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマ等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
 はつり範囲は原則として『計画図』に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を拡げること。
 ※劣化部数量の算出は5mmとしている。
 3. プライマー工 (断面修復工)
 表面(はつり面)を十分に乾燥させたうえでプライマーを塗布し、接着面の付着性を確保すること。
 4. 断面修復工
 ポリマーセメントモルタルにて断面修復を行う。
 ※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
 ※一部みだりの型工等はモルタルの作業性、材料特性等を考慮して設定すること。
 ※ハワリ後に既設鉄筋が存在していても腐蝕が確認された場合には、既設鉄筋をクレンジングして防錆材を塗布すること。

補修数量表-1 (カッター工)

補修箇所	施工延長
D1	0.90m
D2	0.70m
D3: (0.3+0.4)*2	1.40m
D4	4.00m
カッター工延長 合計 L=	7.00m

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-2 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1	0.20X0.90	0.18m ²
D2	0.30X0.20	0.06m ²
D3	0.30X0.40	0.12m ²
D4	4.00X0.30	1.20m ²
D5	4.00X0.32	1.28m ²
断面修復工断面積 合計 A=		2.84m ²

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

補修箇所	補修断面積
表面 (補修数量表-2より)	2.84m ²
側面 (補修数量表-1より) 7.00m*0.05m	0.35m ²
断面修復用プライマー工面積 合計 A=	3.19m ²

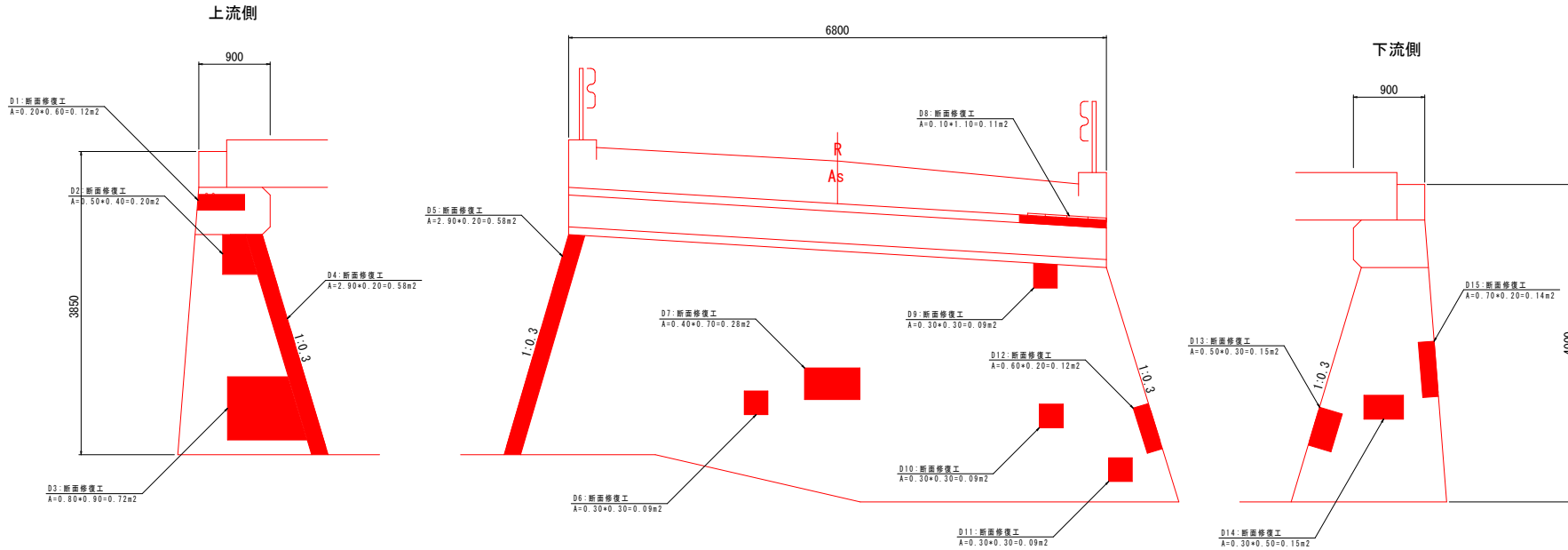
当初発注図面

工事名	R2吉士 国道193号 (第二倉庫橋)
路線名等	吉・美郡道 橋梁補修工事
工事箇所	一般国道193号
図面名	吉野川市美郷字倉庫 (第二倉庫橋)
図面名	下部工補修計画図 (1)
図尺	図示 図面番号 4 / 8
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 (吉野川庁舎)

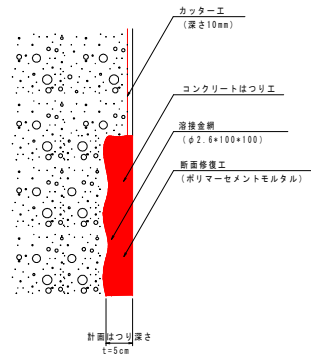
下部工補修計画図(2)

S=1:30

A2橋台
(左岸側)



断面修復工詳細図 S=1:5



- ＜施工手順＞
1. カッター工
高さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつり工
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマ等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を広げること。
※除根量の算出は5mmとしている。
 3. プライマー工 (断面修復工)
表面 (はつり面) を十分に乾燥させたうえでプライマーを塗布し、接着面の付着性を確保すること。
 4. 断面修復工
ポリマーセメントモルタルにて断面修復を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※一層あたりの施工厚さはモルタルの作業性、材料特性等を考慮して設定すること。
※ハワリ後に既設鉄筋が存在して腐蝕が確認された場合には、既設鉄筋をクレンジングして防錆材を塗布すること。

補修数量表-1 (カッター工)

補修箇所	施工延長
D1: 0.6+2+0.2	1.40m
D2: 0.5+0.4	0.90m
D3: 0.9+2+0.8	2.60m
D4	2.90m
D5	2.90m
D6: (0.3+0.3)+2	1.20m
D7: (0.4+0.7)+2	2.20m
D8	0.10m
D9: 0.3+3	0.90m
D10: (0.3+0.3)+2	1.20m
D11: (0.3+0.3)+2	1.20m
D12: 0.2+2+0.6	1.00m
D13: 0.3+2+0.5	1.10m
D14: (0.3+0.5)+2	1.60m
D15: 0.2+2+0.7	1.10m
カッター工延長 合計	L= 22.30m

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-2 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1	0.20X0.60	0.12m ²
D2	0.50X0.40	0.20m ²
D3	0.80X0.90	0.72m ²
D4	2.90X0.20	0.58m ²
D5	2.90X0.20	0.58m ²
D6	0.30X0.30	0.09m ²
D7	0.40X0.70	0.28m ²
D8	0.10X1.10	0.11m ²
D9	0.30X0.30	0.09m ²
D10	0.30X0.30	0.09m ²
D11	0.30X0.30	0.09m ²
D12	0.60X0.20	0.12m ²
D13	0.50X0.30	0.15m ²
D14	0.30X0.50	0.15m ²
D15	0.70X0.20	0.14m ²
断面修復工断面積 合計	A= 3.51m ²	

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

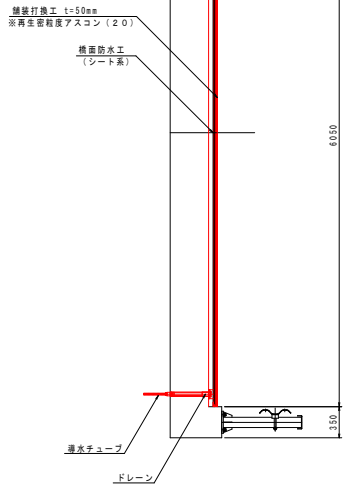
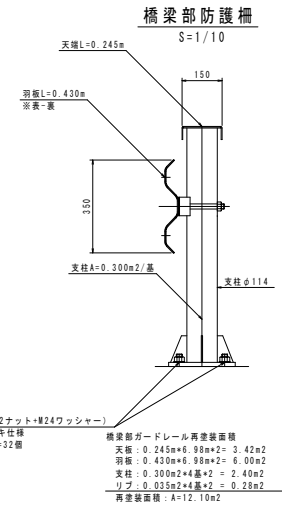
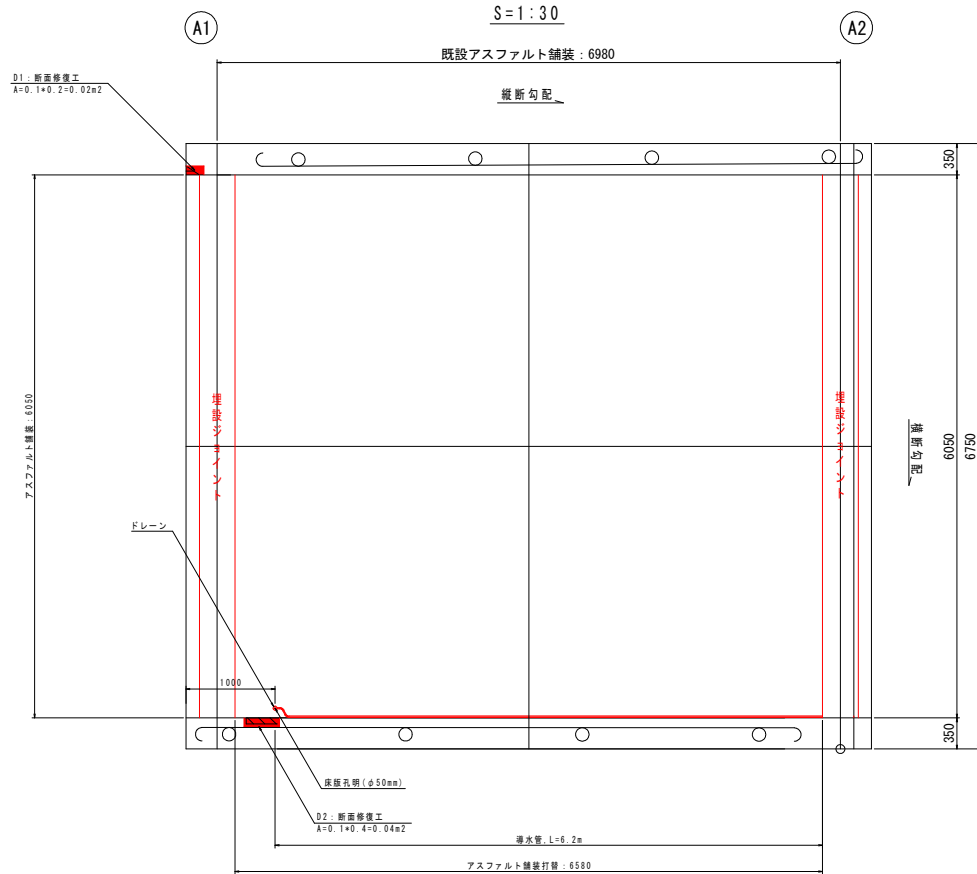
補修箇所	補修断面積
表面 (補修数量表-2より)	3.51m ²
側面 (補修数量表-1より) 22.30m×0.05m	1.12m ²
断面修復用プライマー工面積 合計	A= 4.63m ²

【第二倉庫欄】 **当初発注図面**

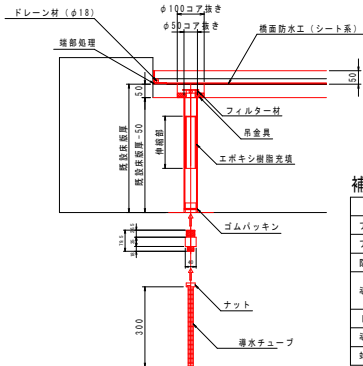
工事名	R2西土 国道193号 (第二倉庫欄) 西-奥部倉庫 橋梁補修工事
路線名等	一般国道193号
工事箇所	吉野川市奥部倉庫 (第二倉庫欄)
図面名	下部工補修計画図(2)
図尺	図示 図面番号 5 / 8
会社名	
事業番号	徳島県東部土木整備局 (吉野川庁舎)

橋面補修計画図

上方からの鳥瞰平面図



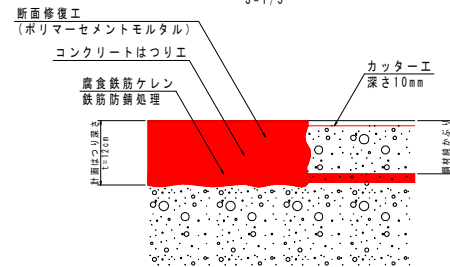
ドレーン詳細図 S=1/10



補修数量表 (橋面舗装工)

名称	単位	数量	備考
アスファルト舗装撤去	m ²	42.20	6.98×6.05+42.20m ² , t=25mm
アスファルト舗装打替	m ²	39.80	6.58×6.05+39.80m ² , t=50mm
防水工	m ²	39.80	シート系
導水管	m	6.20	
ドレーン	組	1	
導水チューブ	m	0.30	φ20
端部処理材	m	6.20	

断面修復工詳細図 (地覆部) S=1/5



補修数量表 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積	使用材料	施工方法
D1	0.10X0.20X0.12	0.002m ³	ポリマーセメントモルタル	左官工法
D2	0.10X0.40X0.12	0.005m ³		
断面修復工体積 合計		A=0.007m ³		

注記) 1. 断面修復範囲について
上記図面の範囲を基本とするが、それ以外の箇所においても、コンクリートの劣化が認められる箇所は、同様に劣化部を除去し断面修復を行うこと。
2. はつり深さについて
鉄筋位置において内部鉄筋腐食が確認された場合は、腐食鉄筋のケレン作業が確実に見える位置まではつること。
設計数量の算出は12cmとしている。

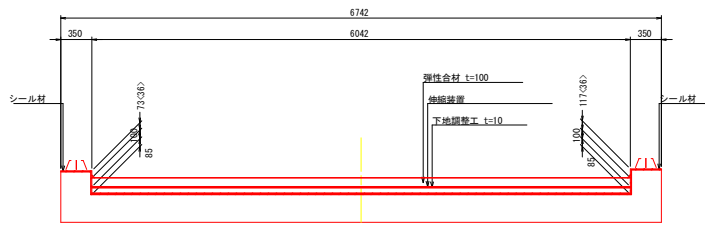
【第二巻種別】

当初発注図面

工事名	R2西土 国道193号 (第二巻種別)		
路線名等	西・奥越倉線 橋梁補修工事		
工事箇所	吉野川市奥越倉字倉線 (第二巻種別)		
図面名	橋面補修計画図	図面番号	6 / 8
縮尺	図示	図面番号	6 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部農工整備局 (吉野川庁舎)		

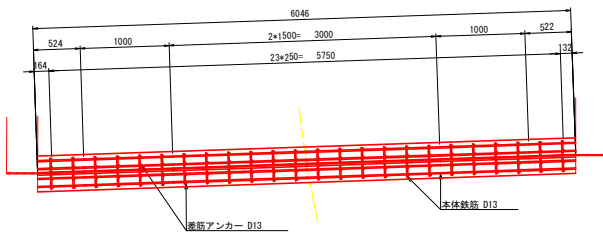
伸縮装置補修計画図〔参考図〕

断面図 S=1:30

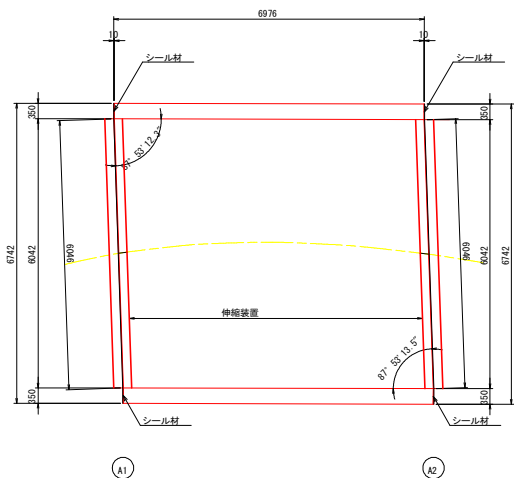


注) < >内寸法はA2部を示す。

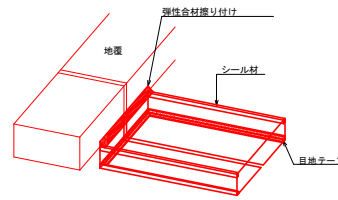
部材平面図及びアンカー筋配筋図 S=1:30



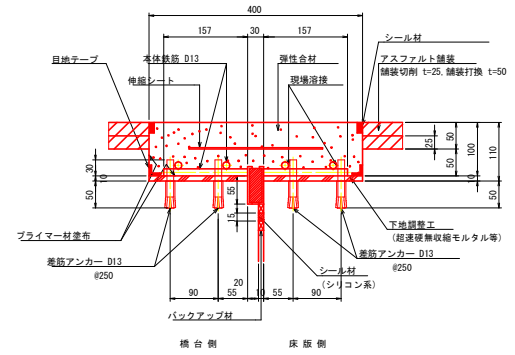
配置図 S=1:60



施工境界部イメージ

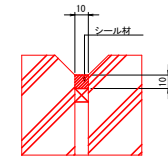


伸縮装置取付断面図 S=1:5



注1) 仕様・積寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。

シーリング材充填図 S=1:2



施工フロー



数量表 (設置)

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
伸縮金物		m	12.09	本体鉄筋、伸縮シート設置。
プライマー材		kg	3.6	
弾性合材		m ²	0.484	
シーリング材	シリコン系	L	2.2	地覆部-伸縮部
特殊成型目地材		m	26.04	
特殊型青テープ		m	26.04	
バックアップ材	ウレタン系	m	12.09	
差筋アンカー	D13	本	192	

※ 斜角は資料を基に計測した数値である。

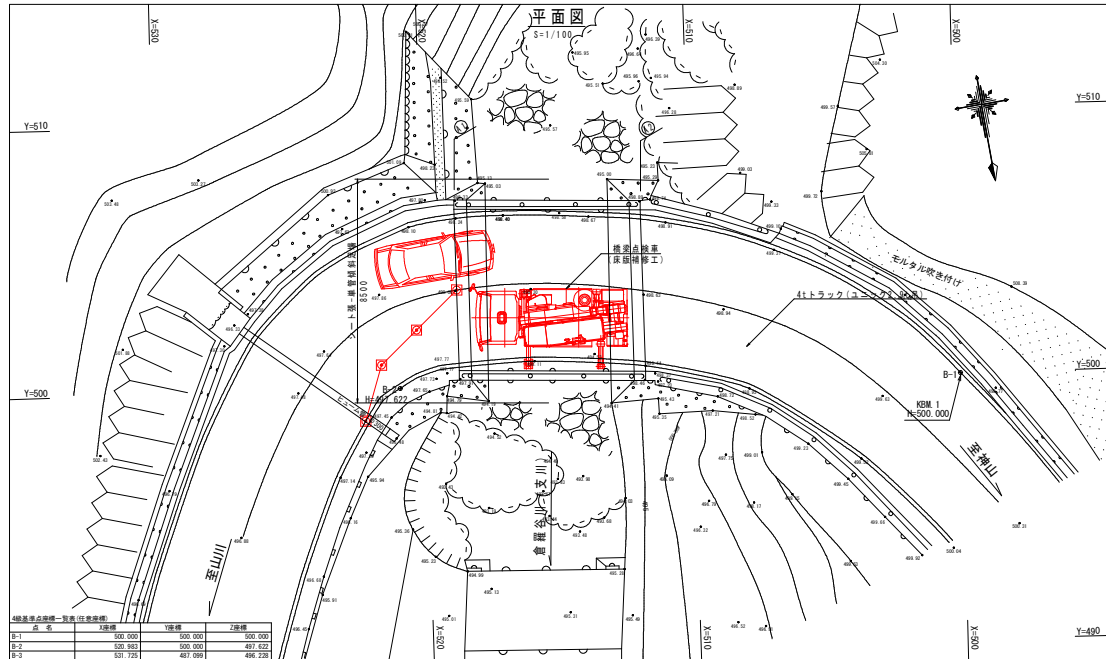
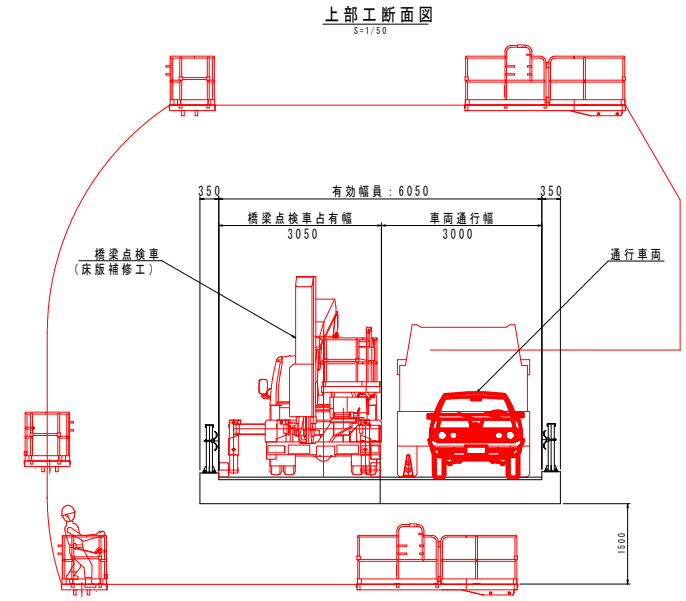
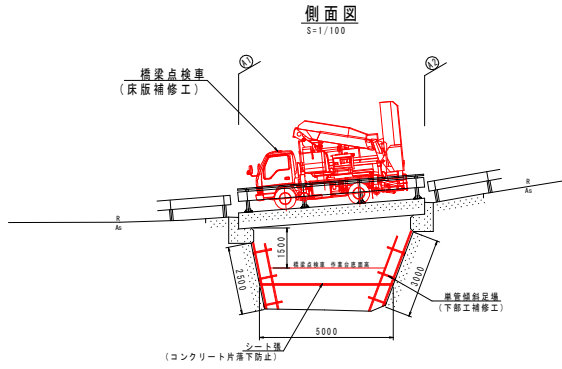
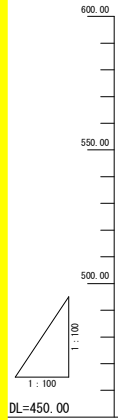
数量表 (他材料)

名称	仕様	単位	数量	備考
下地調整工	超速硬無収縮モルタル等	m ²	0.044	

【第二巻仕様】 当初発注図面

工事名	R2西土 国道193号 (第二巻仕様)
路線名等	西・奥部倉庫 橋梁補修工事
工事箇所	一般国道193号
図面名	伸縮装置補修計画図 (参考図)
縮尺	図示 図面番号 7 / 8
会社名	
事業名	福島県東部農工整備局 (吉野川庁舎)

施工要領図（参考）



区画	面積	1階床	2階床
B-1	500.000	500.000	500.000
B-2	520.950	520.000	497.522
B-3	537.250	487.000	496.253

【第二巻種補】 当初発注図面

工事名	R2西土 国道193号(第二巻種補)
路線名等	西・美郷倉経 橋梁補修工事
工事箇所	吉野川市美郷字倉経(第二巻種補)
図面名	施工要領図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 8 / 8
会社名	
事業者名	徳島県東部農工整備局(吉野川庁舎)